

図書館通信



画：長田 清（登別美術協会）

豊かな時間を図書館で

令和3年
(2021年)

5



月号

第481号 (第40巻第2号)

【目次】

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| P 1 雑誌リサイクル市のお知らせ | P 6 職員コラム |
| P 2 月例行事と展示のお知らせ | P 7 職員のおすすめ本 |
| P 3 イベントのお知らせ | P 8 新着図書案内 |
| P 4 アーニス分館だより | P 12 カレンダーとお知らせ、
図書館施設のご案内 |
| P 5 市民のひろば | |

編集・発行 登別市立図書館

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>

〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

電話 (0143) 85-4324 FAX (0143) 85-4325

雑誌のリサイクル市を開催します！

開催日 5月1日(土)
5月2日(日)
5月5日(水・祝)
開催時間 10時30分～16時

※強風・雨天時には中止になる場合があります。

3日間は、本館駐車場に
設置したテントにて
屋外で開催します！

開催日 5月6日(木)～27日(木)

開催場所 本館1Fロビー

保存期間を終え除籍した雑誌を1日1人10冊まで、
希望する市民の方へ差しあげます。(お持ち帰り用の袋はご持参ください)
混雑を避けるため、今回は一般書や児童書のリサイクル市を行いません。

*本館で所蔵している雑誌が対象です。

アーニス分館所蔵雑誌はアーニス分館のリサイクル市にて差しあげています。

5月31日(月)までアーニス分館でも雑誌のリサイクル市を行っています。

映画会

※会場はどちらも図書館3階会議室です。
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

今月は1日です！（毎月第1土曜日に開催しています）

名画鑑賞会 「ナショナルジオグラフィックシリーズ」（54分+54分）
13時30分～ ◎貴重な映像を記録したドキュメンタリーから「北極グマ カナダ」
「幻の白いオオカミ」の2作品を上映します。
※次回は「プロフェッショナル 仕事の流儀」から、「漫画家 浦沢直樹の仕事」
「スタジオジブリ 鈴木敏夫の仕事」の2作品を上映します！

※今月の「こども映画会」は、こども★フェスタウィークに合わせて
5月5日に開催します。
上映作品は「がんばれスイミー」と「だいじょうぶ だいじょうぶ」の2本です。

おはなし会

※会場は図書館3階会議室です。
入場無料、申込は不要です。

おはなしほけつと（絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなど）
日時 5月22日（土） 13時30分より



※今月の「えほんのへやのおはなしかい」は、こども★フェスタウィークに
合わせて5月8日に「大型絵本のおはなし会」として開催します！

ロビー展示

※会場は図書館1階ロビーです。
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

★ただいま開催中！

『名作で楽しもう！』

児童書には初版の発行から50年以上も読み継がれている作品が多くあります。

例えば「不思議の国のアリス」は最初児童書として出版されましたが、現在では絵本やディズニー映画のイラストを採用したアニメ本など多様であり、親子で同じ作品を楽しむことができます。

今回は初版から50年以上たった絵本や、同じ作品を絵や言語の違いを通して見比べ、読み比べる名作の楽しみ方を提案します。

期間：4月8日（木）～5月9日（日）
場所：本館1階ロビー

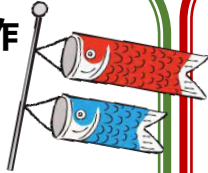


イベントのお知らせ

『じどうしつで楽しもう！ 開催子ども★フェスタウィーク』

こどもの読書週間 第62回標語 「いっしょに よもう、いっぱい よもう」

こどもの日工作
こいのぼりを
つくろう！



日時 5月5日(水)
14:00~15:00

場所 本館3階会議室
色画用紙を使ってこいのぼりを作ろう！
時間内であれば誰でも自由に参加出来ます。

こどもの日映画会

日時 5月5日(水)

10:30~11:30

場所 本館3階会議室

大型絵本のおはなし会

日時 5月8日(土)

14:00~14:30

場所 本館3階会議室

くーちゃんの
本さがしゲーム

日時 5月8日(土)

10:00~17:00

くじを引いて、くまのくーちゃんがおすすめる絵本を探そう！見つけた絵本を借りると景品がもらえます。



5月5日(水)~5月9日(日)10:00~17:00の期間に来た方にプレゼント！

全員プレゼント ●「オニくじ」

本を借りた方へちょっと辛口なおみくじ「オニくじ」としおりをプレゼント！

参加者プレゼント ●「ひよこ釣りゲーム」

毛糸で出来たひよこ釣りにチャレンジ！釣れたひよこ1羽をプレゼント！

赤ちゃんプレゼント ●「スタイ」

1歳未満のお子さんへプレゼント！（*無くなり次第終了します）



ご寄附の報告

3月23日(火)、登別ライオンズクラブ様から図書購入費のご寄附を頂きました。

同クラブ様からは昭和44年以来、継続的にご寄附を賜っております。

これまで1,700冊を超える図書を購入させて頂いており、今回もご厚志に沿った資料の選定を進めて参ります。

皆様から賜りましたご篤志に改めて御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

アーニス分館だより



アーニス分館では



- ◆ 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- ◆ 「国立国会図書館デジタルコレクション」
「歴史的音源」を利用できます。
- ◆ オンライン・データベースを利用できます。
- ◆ 見やすい大活字本もあります。
- ◆ 雑誌の最新号の一夜貸しを行っています。
- ◆ **新聞コーナーでは読売新聞と室蘭民報を
ご覧いただけます。**



図書館通信 4月号でご案内致しました雑誌のリサイクル市に足を運んで頂きありがとうございます。雑誌はランダムに登場しますので、既に来られた方も、何度でも立ち寄ってご覧ください。尚、リサイクル市は5月31日まで開催予定です。



《新刊おすすめ本紹介》

美しい世界の風景 まちがい探し

渡邊 修 監修 / ブティック社

脳がグングン動き出す！



世界中の絶景スポット・名所の写真を使った「まちがい探し」です。美しい写真を眺めて探すだけで脳活性やヒーリング効果も期待できます。豆知識も掲載。

まちがい探しは、観察力や集中力を高め、見つけた瞬間の喜びが脳の刺激になります。年齢を問わずゲーム感覚で楽しみながら脳をリフレッシュして下さいね。

「絶対」ということば

コロナ禍のなかで開けた新年、作家半藤一利さんが亡くなりました。図書館の2Fカウンターでは、さっそく追悼コーナーが設えられています。そこには、代表作『日本のいちばん長い日』（文藝春秋発行）も展示されています。彼のことは、司馬遼太郎との対談で知っている程度、いままで著書は読んだことがありません。

『日本のいちばん長い日』を手にとって、「これも、いいですか」。追悼コーナーに飾られた本は、書棚に列ぶそれらを手にするのとは大違い、少なくとも「いさんで」というわけにはいきません。そんな心配をよそに、即快諾いただきました。



追悼コーナーに出会わなければ、お座なりな「いつか読もう」の気持は、もっと風化が進んでいたことは確実です。そして、この名著も半藤さんのことも、忘れ去ってしまったことでしょう。ゆうに半世紀を超えて、『日本のいちばん長い日』のページ、めくることができました。

読み終わるのに、一週間かかりました。日本の大きな分岐点である、昭和20年8月14日から15日まで、このたった一日の時間が、ハンデータイプの一冊にまとめられています。多くの緻密な資料（文献・取材）に支えられ、その収集に賭けた情熱には感服しました。詳細な索引がつけられていて、著述までの経過・ご苦労を、さながら伝えています。このような例を、類書では知りません。



半藤さんの「二冊目」を手にするのに、時間はかかりませんでした。それは『焼けあとのちかい』（大月書店発行）という絵本です。少年のとき14才、日米開戦で体験した東京大空襲、その記憶をまとわせています。猛火をくぐり抜け、奇跡的に生きのびたようすが、わかりやすく書かれています。

『焼けあとのちかい』とは、そのとき「焼けあとにポツンと立ちながら思い知らされたこと」です。それは「わたしは二度と“絶対”という言葉をつかわない、そう心にちかって今日まで生きてきました。しかしいま、あえて“絶対”という言葉をつかって、どうしても伝えたいたったひとつの思いがあります。戦争だけは“絶対”にはじめてはいけない」、最後にあることば、ページいっぱいの大きな文字です。

「いつか読もう」という、なんともいい加減な思いは、こうして作家半藤一利さんの「はじめ」と「さいご」、そんな著書に出会うこととなりました。

合掌・感謝をないまぜに。(2021.2)

「前に借りた本をまた借りてしまったことはありませんか」

利用者の皆さんからの「すっかり暖かくなったね」や「雨が降りそうだったから図書館に早めに来たよ」などの会話を通じて季節や天気の変化を感じることがあります。一言二言の短いやりとりでも、なごんでいます。その中でたまにあるやりとりが、借りる時の「この本は前に借りたことがあるのか、パソコンでわかりますか」と、返す時の「この本は前に読んだことがある本だった」です。

借りる前に分かればという気持ちは私も同じことがあるので多少は分かります。表紙では気づかずに借りて、読み始めても気づかず途中で「この本は読んだことがあるかも」と思うことがあります。

私はミステリーなどの小説の場合、続きが気になり、謎解きや犯人は誰かなどを立ち止まって考えずに読んでしまうので、結末や印象深い所しか覚えていないことが多いようです。面白かったという記憶はあるのですが、詳細はあやふやになってしまい、うまく伝えられないこともあります。私の読み方のせいもあると思いますが、忘れてしまっていることがあります。

以前、忙しい中でもたくさん借りて読んでいる方にどうしているのかを尋ねたところ、書名などの他に一文でもいいから感想を書き留めているということを知ることができました。書名を書き留めるだけでも結構な手間なのではと思ってしまったのですが、その感想から本のことや読んだ当時の自分の状況を思い返すことが出来るのだらうと感じました。残念ながらまだ実践には至らずにいます。

さて、「パソコンに借りた本の記録は残るのか」ですが、貸し出しをされている間はどの本を借りているのかは分かりますが、以前の貸し出し記録は残っていません。そのため「こちらでも分かりません」とお伝えしています。これは何を読むかはその人のプライバシーに属することであり、図書館は利用者の秘密を守るようになっているためです。

「また同じ本を借りてしまった」か「まあいいか、もう一度読もう」なのかは人それぞれだと思います。すぐ図書館に返してもいいですし、以前とは違う感想があるかもしれないので再読するのも良いと思います。その著者の作品が気に入っているのかもしれないので、同じ著者の別作品を借りてみるなどして、これからも読書を楽しんでもらえたらと思います。



私のおすすめ本

一般書担当 みどりのくるま



「ねむり」

村上春樹／著、カット・メンシック／イラストレーション 新潮社／発行



完全に眠らなくなってから17日間が過ぎた主人公である“私”。突然に起こった、そしていつ終わるかもわからない眠りが不要になった自分に悩み、とまどいながらも徐々に適応していく。しかし自身の変化と共に歯科医の夫と子供との満ち足りた生活に次第に違和感を覚え始め…。

人間は1日の3分の1を眠りに費やします。仕事や趣味や生活の中で時間が足りない！と思ったときに睡眠時間を削ることが出来たらと思う人は多いのではないのでしょうか。眠りが不要になった“私”は一晩

中チョコレートとブランデーをお供に分厚いロシア文学を読みふけったり、夜の海へドライブに出かけたりします。思いっきり運動をしても眠る必要がない、眠らなくても疲れが取れる体になり充実した時間を過ごしていきますが、他人に相談すれば頭がおかしくなったと思われかねない“眠る必要が無い”という秘密を抱えていくことにもなります。

添えられたイラストレーションと本全体に漂う不安な雰囲気を感じながら、眠りが不要になった時自分はどうするのかを読み終わった後もつい考えてしまう1冊です。

デジタル分館資料紹介

「なぜ飼い犬に手をかまれるのか -動物たちの言い分-」

日高 敏隆／著 PHP 研究所／発行 電子書籍（リフロー）



動物行動学者である著者の視点から昆虫や犬や猫、野生動物について自身の経験したエピソードと分かりやすい説明を合わせて書かれた1冊。犬について知りたいというよりは、いろいろな昆虫・動物の雑学について知りたい方へおすすめです。

蛇があつ滑らかな身体の動きを手に入れるために、肢を捨て脊椎骨の数を増やし、内臓の機能までそぎ落としていった（蛇は肺も腎臓も人間でいう左側の1つしかないそうです。）など読んでいて初

めて知ることも多く、もっと深く知りたいと次の本への興味を広げてくれます。1つ1つの項目が1～4ページと短いため、どこから読んでもどこで読むのを止めてもいいため、少しの空き時間にスマートフォンやタブレットで読むのにもぴったりです。



新着図書案内 令和3年5月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
0 総記		江戸移住のすすめ	富岡 一成
サピエンスの未来 伝説の東大講義	立花 隆	古文書への招待	日本古文書学会
● 2016年の週刊文春	柳澤 健	城郭考古学の冒険	千田 嘉博
JavaScript〈完全〉入門	柳井 政和	江戸問答	田中 優子・松岡 正剛
この1冊、ここまで読むか！ 超深掘り読書のススメ	鹿島 茂ほか	上杉鷹山「富国安民」の政治	小関 悠一郎
100倍「読者」が増える！「いいね」が付く！ 文章・コラムの書き方	潮凧 洋介	墮ちたバンカー 國重惇史の告白	児玉 博
トコトンやさしい量子コンピュータの本	山崎 耕造	起業の天才！ 江副浩正8兆円企業リクルートをつくった男	大西 康之
障害者サービスと著作権法 第2版	日本図書館協会 障害者サービス委員会	● 新しい「日本の歩き方」	山谷 えり子
1 哲学・宗教		秋田 角館・乳頭温泉郷 '22	昭文社
精神科医・モタ先生の心が晴れる言葉	斎藤 茂太	戦争が巨木を伐った 太平洋戦争と供木運動・木造船	瀬田 勝哉
仏教百人一首	大角 修	3 政治・経済・社会・教育	
あなたはこうしてウソをつく	阿部 修士	近現代北海道とアイヌ民族-和人関係の諸相	東村 岳史
「嫌い」の感情が人を成長させる	樋口 裕一	気弱さんのための言いにくいモノの言い方	五百田 達成監修
働くことのパーパス	ハーバード・ビジネス・ レビュー編集部	● 約束の地 上・下	バラク・オバマ
むかしむかしあるところに、哲学者がやってきた。 7つの昔話で学ぶ日本一おもしろい哲学入門	小川 仁志	処女の道程	酒井 順子
百田尚樹の新・相対性理論	百田 尚樹	土葬の村	高橋 繁行
仏像破壊の日本史	古川 順弘	民謡とは何か？	島添 貴美子
漢文で知る中国 名言が教える人生の知恵	加藤 徹	〈図説〉人魚の文化史	ヴォーン・ スクリプナー
きみがつくるきみがみつける社会のトリセツ	稲葉 麻由美ほか	スパイと日本人	福山 隆
2 歴史・地理		『聞き上手さん』の「しんどい」がなくなる本	大野 萌子
半藤一利の昭和史	文藝春秋	パンデミック以後 米中激突と日本の最終選択	エマニュエル・トッド
世界はもっとほしいモノにあふれてる 2	NHK「世界はほしいモノ にあふれてる」制作班	なぜデジタル政府は失敗し続けるのか	日経コンピュータ
地図でスツと頭に入る三国志	渡邊 義浩監修	ヨーロッパ冷戦史	山本 健
車中泊研究家が教える車中泊で巡る オススメ道の駅ガイド 2021	八重洲出版	値段がわかれば社会がわかる はじめての経済学	徳田 賢二
傑物を変えた世界史 上・下	アラン・ドゥコー	渋沢栄一『論語と算盤』を読む	原口 泉
シェルパ斉藤の親子旅20年物語	斉藤 政喜	スルガ銀行かぼちゃの馬車事件 四四〇 億円の借金帳消しを勝ち取った男たち	大下 英治
ウィリアム・アダムス 家康に愛された男・三浦按針	フレデリック・ クレインス	なぜ外国人女性は前髪を作らないのか	サンドラ・ヘフェリン
● アフリカ人学長、京都修行中	ウスビ・サコ	「三代目」スタディーズ 世代と系図から読む近代日本	鈴木 洋仁
星野道夫 約束の川	星野 道夫	スマホで子どもが騙される	佐々木 成三
マンガでわかる災害の日本史	磯田 道史	潜匠 遺体引き上げダイバーの見た光景	矢田 海里
軍事郵便は語る 戦場で綴られた日露戦争とその時代	桂木 恵	原発事故自治体からの証言	今井 照
心、震える世界の旅先	柘出版社	民主主義を信じる	宇野 重規
札幌・小樽・富良野 旭山動物園 2021	TAC株式会社 出版事業部	図解はじめて学ぶみんなのビジネス	ララ・ブライアン/ ローズ・ホール

新 着 図 書 案 内 令和3年5月 No.2

広報のぼりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
● ハラスメント大全	野原 蓉子監修	かぐわしき植物たちの秘密	田中 修
老後レス社会 死ぬまで働かないと生活できない時代	朝日新聞特別取材班	死ぬまで噛んで食べる	五島 朋幸
● 存在しない女たち 男性優位の世界にひそむ見せかけのファクトを暴く	キャロライン・クリアドニペレス	凶解身近にあふれる「栄養素」が3時間でわかる本	齋藤 勝裕
災害特派員	三浦 英之	順天堂大学医学部健康スポーツ室式 長生き部屋トレ	<small>順天堂大学医学部附属順天堂 医院健康スポーツ室監修</small>
ヨーロッパの都市伝説	片野 優・ 須貝 典子	庭や街で愛でる野鳥の本	大橋 弘一
家族に迷惑をかけたくないあなたが 認知症になる前に準備しておきたいこと	海老原 佐江子	脳寿命を延ばす 認知症にならない18の方法	新井 平伊
FACESいじめをこえて	NHK「FACES」 プロジェクト	ドラッグストア拡大史	日野 真克
コロナが教えてくれた大悪党	高山 正之	やさしくわかる抗がん剤の副作用とその 対処法	酒井 リカ監修
● 学問の自由が危ない 日本学術会議問題の深層	佐藤 学ほか	眼圧リセット 手のひらマッサージで目の 不調がスッキリ整う	清水 ろっかん
倒産法入門	伊藤 眞	結核がつくる物語	北川 扶生子
地域衰退	宮崎 雅人	専門医が教える声が出にくくなったら読む本	渡邊 雄介
マンションの「音のトラブル」を解決する本	井上 勝夫	なっとくする数学記号 π, e から偏微分まで	黒木 哲徳
密にならないクラスあそび120	樋口 万太郎	ifの地球生命史 “もしも”絶滅した生物が進化し続けたなら	土屋 健
生活道具の文化誌	エイミー・アザリート	● ウナギが故郷に帰るとき	パトリック・ スヴェンソン
奇祭巡礼	北條 秀司	ゲーム・ネットの世界から離れられない 子どもたち	吉川 徹
おじさんは、地味な資格で稼いでく。	佐藤 敦規	コロナ禍の9割は情報災害	長尾 和宏
年金のきほん	清水 典子監修	きほんのアロマセラピー 改訂版	佐々木 薫
シリアの戦争で、友だちが死んだ	桜木 武史	学名の秘密	ステイーヴン・ B. ハード
総理大臣菅義偉の大罪	佐高 信	家庭でできる転倒予防トレーニング	隆島 研吾
戦後民主主義 現代日本を創った思想と文化	山本 昭宏	腰痛難民	池谷 敏郎
ロヒンギャ危機 「民族浄化」の真相	中西 嘉宏	父と娘の認知症日記 認知症専門医の父・ 長谷川和夫が教えてくれたこと	長谷川 和夫・ 南高 まり
天皇家の家計簿	宝島社皇室取材班	最新研究が示す病気にならない新常識	古川 哲史
相続地獄 残った家族が困らない終活入門	森永 卓郎	美しい世界の風景まちがい探し	渡邊 修監修
「家庭」であり「学校」であること 北海道家庭学校の暮らしと教育	北海道家庭学校	地図づくりの現在形	宇根 寛
兜町の風雲児 中江滋樹最後の告白	比嘉 満広	たたかう免疫 人体vsウイルス真の主役	NHKスペシャル 取材班
職場六法	岩出 誠	5 技術・工業・家事	
定年の教科書	長尾 義弘・ 福岡 武彦	● 志麻さんのベストおかず プレミアムなほぼ100円おかず編	タサン志麻
女の子はどう生きるか	上野 千鶴子	1/2日分の野菜レシピ	小田 真規子
平成・令和学生たちの社会運動	小林 哲夫	一億総SNS時代の戦略	カレー沢薫
4 自然科学・医学		北海道みなとまちの歴史	関口 信一郎
科学絵本の世界100	平凡社	廃炉 「敗北の現場」で働く誇り	稲泉 連
こどものアレルギー基礎BOOK	今井 孝成監修	Atelier AngelicaのドレスBOOK	住友 亜希
家は生態系	ロブ・ダン	続くお弁当	夏梅 美智子

新 着 図 書 案 内 令 和 3 年 5 月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書 名	著 者	書 名	著 者
5 技術・工業・家事		ただばたらき	嬉野 雅道
明日へのたね蒔き	asako	柿	今井 敬潤
ストレッチ×ゆる筋トレ	Daigo	松の文化誌	ローラ・メイソン
冷蔵庫にあるもので	and recipe	紙の上のタイムトラベル 鉄道と時刻表の150年	松本 典久
いちご本	昭文社	キッチンからはじめる再生栽培	原 由紀子監修
美しき鉄道橋の世界	武田 元秀	7 芸術・スポーツ	
ほんこつ主婦のこっそりラクして絶品ごはん	橋本 彩	緊急事態宣言の夜に	さだ まさし
もっと！魔法のてぬきおやつ	てぬキッチン	4つのカタチが楽しい立体ポップアップカード	月本 せいじ
水の大陸アジア ヒマラヤ水系・大河・海洋・ モンスーンとアジアの近現代	スニール・アムリス	鳥獣戯画のヒミツ	宮川 禎一
研究者が本気で建てたゼロエネルギー住宅	三浦 秀一	柚木沙弥郎のこぼれ	柚木 沙弥郎・ 熱田 千鶴
ひとり暮らしで知りたいことが全部のってる本	主婦の友社	イラストでわかる日本の甲冑	渡辺 信吾
柳澤式ゆる糖質オフのラクやせスープと 鍋ベストレシピ	柳澤 英子	春夏秋冬のイベントを楽しむ いしばしなおこの季節の折り紙	いしばし なおこ
こどものおいしいおべんとう	フルタニ マサエ	デザイン大全	尾沢 早飛
愛しの灯台100	不動 まゆう	●ピリカ	半田 菜摘
おうち時間に…心地よい日常着	ブティック社	童謡が輝いていた頃 アイスクリームの歌の自叙伝	服部 公一
極上のおうちラーメン	高梨 樹一	新しい体幹の教科書	林 英祐
●そこに工場があるかぎり	小川 洋子	●北海道木彫り熊の考察	山里 稔
トコトンやさしいウェアラブルの本	塚本 昌彦	●アーノルド・ローベルの全仕事 がまくんとかえるくんができるまで	ブルーシープ
65歳から心ゆたかに暮らすために大切なこと	シヨコラ	浅田撮影局 せんねん	浅田 政志
きのこ・海藻・ネバネバ・発酵食で藤井恵 の免疫力を高めるかんたんごはん 塩分1日6gわがまま男をうならせる うまい！減塩めし	藤井 恵	47都道府県・やきもの百科	神崎 宣武
これなら朝ラク！10分弁当	本田 よう一	たたら製鉄と日本刀の科学 新装版	鈴木 卓夫
●マスクの次に何作る？ミシンで楽しむ布こもの	食のスタジオ	青春18ディスク	レコード芸術
65歳からのふたりごはんの愉しみ	ブティック社	まくらが来りて笛を吹く	春風亭 一之輔
着物リメイクで長く持ちたいバッグ	石原 洋子	まんがでわかるカーリングの見方!!	市川 美余監修
ホットクックだからおいしい！絶品レシピ150	皿海 佐多子	366日風景画をめぐる旅	海野 弘監修
6 産業・商業		洋画家の美術史	ナカムラ クニオ
47都道府県の底力がわかる事典	牛尾 理恵	息子がいじめの加害者に？ 大原さんちの大ピンチ	大原 由軌子
47都道府県の底力がわかる事典	葉上 太郎	8 言語	
知られざる拓北農兵隊の記録	鶴澤 希伊子	釧路地方のアイヌ語彙集	八重 九郎ほか
狩猟教書 罷撃ち久保俊治	久保 俊治	高校生からの韓国語入門	稲川 右樹
オールカラー北海道の廃線記録 室蘭本線、日高本線、根室本線沿線編	安田 就視写真	「させていただく」の語用論 人はなぜ使いたくなるのか	椎名 美智
ステキな広告ジオラマ	情景師アラキー	季節と気持ちを上手に伝える手紙の 書き方マナー&文例集	杉本 祐子
農家が教える草刈り・草取りコツと裏ワザ	農文協	英文法再入門	澤井 康佑

新 着 図 書 案 内 令和3年5月 No.4

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
913 日本の小説		擬傷の鳥はつかまらない	荻堂 顕
麦本三步の好きなもの 第2集	住野 よる	国道食堂 2nd season	小路 幸也
代理母、はじめました	垣谷 美雨	小説秋月鶴山 上杉鷹山がもっとも尊敬した兄	童門 冬二
悪の芽	貫井 徳郎	睦家四姉妹図	藤谷 治
● いわいごと(まんまこと 8)	畠中 恵	おもろい以外いらんねん	大前 粟生
● オムニバス(姫川玲子シリーズ)	誉田 哲也	猫沼	笙野 頼子
湯どうふ牡丹雪 長兵衛天眼帳	山本 一力	野望の屍	佐江 衆一
灰の劇場	恩田 陸	十年後の恋	辻 仁成
走れ、若き五右衛門	小嵐 九八郎	あと十五秒で死ぬ	榊林 銘
隅田川心中	赤松 利市	料理なんて愛なんて	佐々木 愛
うしろむき夕食店	冬森 灯	天下一のへりくつ者	佐々木 功
天使と悪魔のシネマ	小野寺 史宜	● 高瀬庄左衛門御留書	砂原 浩太郎
ほたるいしマジカルランド	寺地 はるな	9 その他の文学	
あきない世傳金と銀 10 合流篇	高田 郁	● 大人の流儀 10	伊集院 静
花人始末 出会いはすみれ	和田 はつ子	● クララとお日さま	カズオ・イシグロ
● ラスプーチンの庭	中山 七里	これで暮らす	群 ようこ
おれたちの歌をうたえ	呉 勝浩	限りなく繊細でワイルドな森の生活	内藤 里永子
小隊	砂川 文次	人がつなぐ源氏物語 藤原定家の写本からたどる物語の千年	伊井 春樹
終わりの歌が聴こえる	本城 雅人	松田道雄 子どものものさし	松田 道雄
● それでも、陽は昇る	真山 仁	そこに行けばいいことがあるはず	ク 作家
わんだフル・デイズ	横関 大	我らの山田風太郎 古今無双の天才	河出書房新社
優しいおうち 古民家再生物語	森 久美子	アトリエ雑記	牧野 伊三夫
三つ巴(新・酔いどれ小籐次20)	佐伯 泰英	つぎに読むの、どれにしよう? 私の親愛なる海外児童文学	越高 綾乃
紅蓮の雪	遠田 潤子	旅を栖(すみか)とす	高橋 久美子
転職の魔王様	額賀 滯	はじまりの24時間書店	ロビン・スローン
老婦人マリアンヌ鈴木の部屋	荻野 アンナ	大きな森の小さな家 大草原のローラと西部開拓史	ちば かおり
母影	尾崎 世界観	ひきこもり図書館 部屋から出られない人のための12の物語	頭木 弘樹
ぜにざむらい	吉川 永青	炎上案件明治／大正ドロドロ文豪史	山口 謠司
残酷な遊戯・花妖	坂口 安吾	● だいちょうことばめぐり	朝吹 真理子
超短編! 大どんでん返し	小学館文庫編集部	私のエッセイズム 古井由吉エッセイ撰	古井 由吉
十津川警部疑惑の旅路	西村 京太郎	開高健とオーパ! を歩く 増補新版	菊池 治男
近鉄特急殺人事件		● 中国・アメリカ謎SF	柴田 元幸
もろびとの空 三木城合戦記	天野 純希	恋するアダム	イアン・マキューアン

住所を変更したときは

住所が変わった・電話番号が変わったなど、利用者カードの登録内容から変更があった場合は図書館や分館・配本所の窓口までお申し出ください。

住所変更の場合は新しい住所が書かれた身分証明書を持参の上、窓口までお申し出ください。

また同じ名前の利用者カードが複数ある場合は1枚のカードに統一いたしますので、同じく窓口までお申し出ください。



登別市立図書館

図書館カレンダー 令和3年(2021年) 5月

日	月	火	水	木	金	土
						1 特設リサイクル市 映画会
2 特設リサイクル市	3 憲法記念日 本館休館	4 みどりの日 本館休館	5 こどもの日 特設リサイクル市 子ども★フェスタ	6 雑誌のリサイクル市 分館休館	7 7 雑誌のリサイクル市 (5/27まで) →	8 子ども★フェスタ
9 子ども★フェスタ	10 本館休館	11	12	13 ブックスタート 分館休館	14	15
16	17 本館休館	18	19	20 分館休館	21	22 おはなしほけつと
23	24 本館休館	25	26 ライブラリー スタート おはなし会	27 リサイクル市最終日 分館休館	28 図書整理日 本館休館 分館休館	29
30	31 アーニス分館 リサイクル市最終日 本館休館	6/1	6/2	6/3 分館休館	6/4	6/5 映画会

図書館施設案内

	本館	アーニス分館	鷺別配本所	登別配本所	こぐま号
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷺別町3-3-4	登別東町3-6-7	中央町5-21-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	85-4324
休館日	月曜日・祝日・年末年始 毎月最終金曜日	木曜日・年末年始 毎月最終金曜日	年末年始のみ		日曜日・月曜日・ 祝日・年末年始
開館時間	10:00~18:00 (木曜のみ19:30)	10:00~20:00	9:00~18:00 (昼休みあり)	9:00~17:30 土日祝 17:00	巡回表のとおり